

平成28年度事業計画

【活動方針】

現代社会は第4次産業革命と称され、情報サービス産業においてもそのキーワードとして、IoT・ビッグデータ・フィンテック等の目覚ましい変革が進み、経済・産業・社会に大きな変革をもたらしつつあります。

また、ビジネスに直結する事業として、いよいよ本年より開始されたマイナンバー制度、2017年4月実施予定の消費税の引上げ、2020年の東京オリンピック開催など、様々な分野においてビジネス拡大の機会が創出されつつあります。

従いまして、28年度事業計画は従来の施策を踏襲しつつも、変革に対応した地域の情報化イノベーションをリードし、地域経済活性化のため会員企業・行政・諸団体等との連携を図り、情報サービス産業の振興を図るべく具体策を策定し着実に事業を推進して参ります。

【事業計画】

1. 人材育成及び人材確保に関する事業

(1) 人材育成に関する事業

- ① 埼玉職業能力開発促進センターを活用し技術研修会を実施
- ② eラーニングの活用
- ③ 海外視察研修

(2) 人材確保に関する事業

- ① 共同求人説明会（埼玉新聞社と共催）の実施
- ② 県内17大学合同企業説明会 実施時期未定（就職解禁日変更による）
- ③ 学校と企業の就職交流会 実施時期は求人部会で決定
- ④ 会員企業求人案内の広報誌「SAI-PRESS」掲載
- ⑤ 各校就職責任者との交流（求人教育部会）
- ⑥ インターシップへの対応（工業高校を含め）

2. 地域情報化推進事業

(1) 「第21回彩の国さいたまホームページコンテスト2016」の開催

協会の主催事業として地域社会に広く認知されているが、昨年度協会会員限定で実施したプログラミングコンテストを広く一般からも募集し同時開催とする

- ① 作品公募期間（予定）：平成28年9月1日（水）～10月14日（金）
- ② 表彰式：平成29年1月20日（金）協会賀詞交歓会と同時開催

(2) 「彩の国ビジネスアリーナ2017」の開催

埼玉県の産業振興・経済発展を図るため、(財)埼玉県産業振興公社が中心となり、埼玉県・県内金融機関等との共催により「ビジネスイベント」を開催する

- ① 開催日：平成29年1月（予定）
- ② 開催場所 さいたまスーパーアリーナ

(3) 埼玉県・さいたま市など地方自治体との事業連携

自治体が保有する各種公開データを、地域社会ニーズとのマッチングや複数データの組合せ等により、効果的なデータ活用を推進する

- ① 埼玉県・さいたま市と定期的情報交換・ニーズ調査を実施し具体推進策を策定
- ② オープンデータ活用推進協議会への参画
- ③ 県主催アイデアソン等のイベントへの参画

- (4) 地域連携事業「次世代ICT調査活用調査研究会」の開催
平成28年度よりIT活用支援ネットワーク会議に代えて「次世代ICT活用調査研究会」を発足し、旧ネットワーク会議メンバーを中心として個別具体策の推進について意見収集し協会会員のビジネス機会拡大に結びつける
- (5) ビジネス交流会・セミナー等の開催
タイムリーなテーマを選定し、新ビジネスの展開や、会員企業間のビジネス情報の交流を、埼玉県産業振興公社・異業種企業等と連携し推進する
 - ① 「異業種との連携強化」
ビジネスチャンスの拡大
 - ② 「ビジネス交流会」開催
効果的なテーマを選定し、会員企業及び異業種企業との交流会を開催
- (6) 「ITなんでも相談室」の利用促進
 - ① 行政施策を踏まえ、中小事業者や起業家のIT投資・情報化等に関わる相談窓口を事務局に設置し、相談室の利用促進を図る。

3. 調査研究事業

- (1) 行政機関・県内企業の情報化への進展等を見極め、地域情報サービス産業として情報収集を図り、会員企業への情報提供を行う
- (2) プロジェクト管理技術・開発方法・先進ITの研究
 - ① システム技術部会において定期的に各種研究を実施し、研究成果の発表を行う
 - ② 研究活動報告を広報誌「SAI-PRESS」に掲載

4. 啓蒙・普及事業

- (1) 広報誌「SAI-PRESS」の定期発行
協会の活動状況等を内外に周知し、知名度の浸透と公益法人としての情宣を積極的に発信する
 - ① 広報誌の発行：年1回 1月
 - ② 電子版デジタルの定期発行：年3回 4月・7月・10月
- (2) 「ニュースリリース」の発信
 - ① 協会に送付された「情報・ニュース・案内」などを会員にメールにて適宜送達
- (3) 県立工業高校ソフトウェア・ホームページコンテスト大会の後援
 - ① 全国大会出場学校選抜大会に際し人的・財政的支援を行う

5. 産・学・官交流事業

- (1) 情報サービス産業振興のために、埼玉県をはじめ経済産業省・総務省・厚生労働省等、情報サービス産業協会（JISA）・全国地域情報産業団体連合会（ANIA）等関係諸団体、埼玉大学をはじめとする県内大学、地域共同研究センター、産学官交流協議会等への参画、および国際交流等を行う
 - ① 世界情報技術産業会議（WCIT）への参画：ブラジルにて10月開催
 - ② アジアオセアニアICTサミット（ASOCIO）への参画：ミャンマーにて開催
 - ③ 第37回ANIA秋田大会：秋田市にて9月開催

- ④ 東京・神奈川・千葉・山梨及び近隣諸県の情報サービス産業協会との連携
- ⑤ 埼玉県GIS普及推進研究会への参画

(2) 埼玉大学及び県内大学との連携強化

- ① 実務教育：IT関連教育に経営者層の講師派遣
- ② 県内大学へのIT関連講座開設支援
- ③ 各大学と協会会員個別の合同求人説明会の開催

(3) 新年賀詞交歓会予定：平成29年1月20日（金）パレスホテル大宮にて開催

- ① 諸官庁・諸団体関係者を招くと共に、協会会員の交流、拡大を図る
- ② 「第21回彩の国さいたまホームページコンテスト2016」「第1回プログラミングコンテスト」の表彰式を同日に行う

(4) IPA主催「情報セキュリティ標語・ポスター等」情報セキュリティ啓蒙について

- ① 県内優秀作品を選出し当協会として表彰を行う

6. 福利厚生事業

(1) 協会会員の福利厚生事業

- ① 第23回ボウリング大会：平成29年2月開催予定

(2) チャリティー事業

- ① 第21回チャリティゴルフコンペ：平成28年9月開催予定

7. 労働環境改善・共同求人事業

(1) 埼玉労働局・埼玉県等との連携推進

- ① 労働環境改善活動、身障者雇用促進、ウーマノミクス等の諸活動
- ② 労働時間・福利厚生の改善と、求人・身障者・女性活躍等の推進

8. 会員増強運動

(1) 公益社団法人として地域経済振興のため、より広く強い活動基盤を確立するため

- ① 年間目標：5社

【おわりに】

経済産業省「平成28年度経済産業政策」の基本的考え方によると、中小・中堅（地域中核）企業の成長力強化と題し「3つの見える化」プロジェクトを推進するとしている。

中小・中堅企業が抱える問題として、①「成長のための具体的方法がわからない」、②「潜在的な顧客ニーズが捉えられない」、③「最適な支援機関が見つからない」を掲げ、対策として3つの具体策を明示し成長に向けた取組の具体化を促進するとしていますので、当協会においても行政機関と連携し、28年度協会会員支援として上記3課題を重点課題として取組む所存です。

埼玉県唯一の公益社団法人の情報サービス産業団体として社会の負託に応えるべく、地域における市場創造をめざして、事業を積極的に推進したいと考えております。

以上